

▼人口のうごき

人口 115,634人 (-41人)
男 55,439人 (-19人)
女 60,195人 (-22人)
世帯 46,866世帯 (-8世帯)

平成19年7月末日現在
住民基本台帳登録数()内は前月比

▼テレホンサービス

- 市政だより
0897-53-1500 (常時)
- 当番病医院
0897-58-2200 (常時)
- 災害情報
0897-55-5551 (発生時)
- 民話テレホン
0897-52-1270 (常時)

▼編集後記

暑い夏が過ぎ秋の気配が漂うこの頃ですが、まだまだ残暑が厳しく、夏の疲れも取りきれないまま秋へ突入した感が否めないのは私だけなのでしょうか？

田んぼには黄金色の稲の穂が頭を垂れて今や遅しと刈り取りの時期を待っているようです。愛媛県内トップクラスの農業生産力を誇るわが町西条は、これから秋の味覚の最盛期。いもたきも始まり、ますます楽しみと体重が増えるこの季節。皆さんも、お気を付けてください。

でも、食べてるときは幸せですよ。だから、食事の際には、自然の恵みや食にかかわった方々に感謝の気持ちを込めて食事を楽しみたいものですね。(た)



▲ 市指定の文化財である山門

◀ 源実朝の供養塔と言われ、県指定文化財の七重石塔

金剛院は、佛生山金剛院光明寺といひ、保元年間に創建され、八堂山にあつたと伝えられています。八堂山の名前は、金剛院の七堂伽藍の上に本尊である不動明王を祀る不動堂を建てたことによりつけられたといわれています。1585年の天正の陣で全焼したのち、西条藩主の一柳直興公により万治2(1659)年に現在の地へ再建されました。境内には、高さが3・2メートルの七重の石塔があります。この石塔は、源実朝の供養塔といわれ、文永年間に実朝の奥方である本覚尼が、亡夫の五十年忌の供養のために、建立したものであるといわれています。昭和29年には、石造美術品として愛媛県の有形文化財の指定を受けています。



- 住所 福武甲1444
- 電話 0897-5551-2365
- 駐車場 あり(無料)

また和様の山門は、単層入母屋造り・一軒・半繁垂木・本瓦葺きの四脚門で、山門正面には越智直泰筆「佛生山」の扁額が掲げられており、この越智直泰は後の小松藩三代藩主一柳直郷公です。昭和55年、山門全体が市指定の文化財となっており、後背の八堂山の緑の中、落ち着いた風情を醸し出しています。

ふるさと探訪

第28回 金剛院



西条バードウォッチング

Saijo Bird Watching

No. 25 シロチドリ (留鳥)

潮の引いた河口干潟でゴカイなど小動物を探して、足元に歩いては立ち止まり、餌を見つけると機敏に走り寄って捕らえるという動作を繰り返しています。「千鳥足」という言葉は、このチドリ類特有のジグザグ歩きからきたもの。西条では、毎年高須海岸の渚で繁殖が確認されています。



撮影：十亀茂樹